

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	業務上疾病に関する医学的知見の収集		担当部局庁	労働基準局労災補償部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	補償課		若生 正之		
会計区分	労働保険特別会計労災勘定		施策名	Ⅱ 2 4 労働災害に被災した労働者等の社会復帰に向けたリハビリ等を支援する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第2号		関係する計画、通知等	業務上疾病に関する医学的知見の収集事業に係る委託要綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>労災請求事案の業務上外の判断や、認定基準等の策定・改正の検討に当たっては、最新の医学的知見を踏まえ、疾病の発生と業務との関係を明らかにすることが不可欠であるため、国内外の医学文献を収集することを目的とする。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>化学物質等による疾病及び受動喫煙による疾病について、国内外の医学文献を収集、医学専門家により構成する医学文献検討委員会(以下「検討委員会」という。)においてレビュー対象とすべき医学文献を決定し、レビューを作成する。レビュー結果を報告書に取りまとめ、レビュー対象とした文献のサマリー及び収集した文献の原文とともに提出する。</p> <p>※なお、平成24年度までは「業務上疾病に関する医学的知見の収集」として予算計上してきたが、平成25年度要求からは、「保険給付業務に必要な経費」に予算計上している。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	16	16	16	16		
		補正予算						
		繰越し等						
		計	16	16	16	16		
		執行額	14	7	12			
	執行率 (%)	87.5%	43.8%	75.0%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	医学的知見の収集を適切に行い、報告書を取りまとめ、迅速・適正な労災認定に資する基礎資料を得る。		成果実績		-	-	基礎資料を得た	-
			達成度	%	-	-	100%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	収集文献 1,500文献(23年度)		活動実績 (当初見込み)	文献	-	1,518	3,142	-
					-	(1,500)	(1,500)	(1,200)
単位当たり コスト	3,976(円/文献)		算出根拠	12,495,000円(決算額) ÷ 3,142(文献) = 3,976				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	委託費	16						
	計	16						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	業務上疾病の労災認定に当たっては、迅速・適正な処理が求められているところであるが、その判断は、最新の医学的知見を踏まえて行う必要があることから、本事業は必要性・優先度の高いものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国が実施している労災保険給付の基礎資料を得るものであるため、国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	入札による契約差額による。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	総合評価落札方式により委託先を選定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	総合評価落札方式により委託先を選定しており、単位当たりのコストの削減に努めている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業は被災労働者の援護を図るものであり、事業主から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	文献収集・検討会運営経費等に必要な経費のみである。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	専門的能力を有する委託先を選定し、活動実績も踏まえ、実効性を確保している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	目標集を上回る文献を収集しており、適切に医学的知見を収集している。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	見込みを上回る数の文献を収集している。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	労働基準法施行規則の改正に係る検討等に活用している。
点検結果	<p>労災請求事案の業務上外の判断や、認定基準等の策定・改正の検討に当たっては、最新の医学的知見を踏まえ、疾病の発生と業務との関係を明らかにすることが不可欠であるため、本事業を実施している。</p> <p>総合評価落札方式により、専門的能力を有する委託先を企画内容及び費用の面から適切に選定することができ、医学的知見の収集を適切に実施し、迅速・適正な労災認定のための基礎資料を得ることができた。</p> <p>本事業は継続して実施しており、迅速・適正な業務上疾病の労災認定に資するため、文献収集の対象とする疾患について適宜見直しを行うこととする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
—			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	660-24	平成23年行政事業レビュー	1000

厚生労働省
12百万円(平成23年度執行額)

事業管理、受託者への指導



【一般競争入札(総合評価落札方式)】

1. 株式会社 三菱総合研究所
12百万円

医学文献の収集、検討委員会でレビュー対象の検討・決定、レビュー作成。
その後、レビュー結果を報告書として取りまとめ、レビューに使用した文献のサマリー及び収集した文献の原文とともに提出。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.株式会社 三菱総合研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	医学文献収集経費、医学文献検討会 運営費等	12			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社三菱総合研究所	化学物質等による疾病及び受動喫煙による疾病について、国内外の医学文献を収集、検討委員会においてレビュー対象とすべき医学文献を決定し、レビューを作成する。レビュー結果を報告書に取りまとめ、レビュー対象とした文献のサマリー及び収集した文献の原文とともに提出する。	12	2	75%